

—— 推薦の言葉 ——

光透波理論には、宇宙の叡智が秘められている

育生会横浜病院院長

医学博士 長堀 優

宿谷直晃先生と初めてお会いしたのは、出雲大神宮（丹波國一之宮・京都府亀岡市）東京支部による神恩感謝祭の席でした。懇親会でたまたま向い合せとなり、いろいろなお話を伺ううちに、宿谷先生が、言霊研究の分野から、宇宙の摂理を説かれてきたことがわかりました。

そればかりではありません。日本語の言霊を分析することにより、日本人本来の考え方や生き方を探り出し、現代の日本人へ重要な提言を続けてこられたことも知るに至ったのです。

私自身、秘められた日本の古代史に関心を抱き、神話の読み解きや全国の神社・遺跡巡

りを通じ、古代日本の姿を探求してきました。その経過は、拙著「日本の目覚めは世界の夜明け」で申し述べた通りですが、宿谷先生とは、かけがえのないこの日本への深い愛情と現状への危機感を共有していることを強く感じたのです。この出会いに感激した私は、それ以来、宿谷先生のご著書や勉強会で学ばせて頂くようになりました。

宿谷先生が伝える光透波学とは、文字の奥に秘められた真意・真理を明らかにしようとする理論です。

先ず刮目すべきは、言葉を持たない人類が、なぜ言葉を発明できたのか、という人類史開闢以来の根源的な命題の一つに、光透波理論が、明快な答えを提示していることです。光透波理論では、この「初めのコトハ」は創造主より与えられていた、言葉を与えられていたからこそ人間は今日の高度な文化文明を築くことができた、と説いているのです。

宿谷先生も本書の中で指摘されるように、言葉がなければ、脳内の思索はまとまらず、コミュニケーションすらとれません。ですから、言葉という概念を発想することも、創意し発展させていくことも非常に困難であつたはずですから、だからこそ、大いなる存在より言葉は与えられた、との考えは、たいへんに説得力のある説といえるでしょう。

さらに、光透波理論では、この最初の「コトハ」が降ろされたのは、他ならぬこの日本

の地であると説いています。

えっと思うような話ですが、本書をお読みになれば、日本語、さらにはその原初に遡る大和言葉には、言霊と宇宙の叡智が秘められていることが容易に理解されることでしょう。古代文字の研究が進み、ポリビアで見つかった古代文字やエクアドルの地下都市で発見された碑文が、日本の神代文字で解読できたことが明らかになってきました。このような事実からも、日本に最初の「コトハ」が降ろされたであろうことが実感されてきます。日本語、大和言葉の奥深さには、世界言語の根源にふさわしい風格があるのです。

宿谷先生は、言葉と思考は両輪関係にあり、言葉の影響を受けて思考がチャンネルを選ぶようになるかと語られています。じつは、日本語には、外国の言語にはほとんど見られない丁寧語、尊敬語や謙讓語が存在します。言葉と思考が両輪関係にあるなら、複雑な言語体系を持つ日本語が、日本人の思考を深め緻密にし、さらに情緒に富んだものになっていることは間違いないでしょう。

今の混沌殺伐とした世界情勢の中で、神話を奪われた日本人は、本来の姿を見失い、自信をなくしているように見えます。メディアが競争し、必要以上に繰り返す喧噪により、日本人の不安、落ち着きのなさは増すばかりです。危機に瀕する現代日本の状況を打開す

る鍵は、日本人本来の精神性を取り戻すことにあると考えます。そのためには、宇宙の叡智を今に伝える日本語をもう一度見直すことが大きな意味を持つてくることでしょう。

本書を通じ、多くの方に、日本語が持つ神秘的なパワーに気付いていただき、日本人が、世界に誇りうるその精神性を復活させるきっかけにしていきたい、私は切に願っています。